

in Kamifurano



開催期間:2025年7月中旬(予定)

会場:北海道上富良野町日の出公園ラベンダー園

「ラベンダーフェスタかみふらの」は、丘陵地帯が鮮やかな紫色に染まる日の出ラベンダー園でラベンダーを夜も楽しめる期間限定のイベント。ライトアップされ浮かび上がる幻想的な夜のラベンダー畑の散策を満喫できる。



ラベンダーフェスタかみふらの



in NISEKO



開催期間:2025年7月~10月頃(予定)

会場:ニセコHANAZONOリゾート

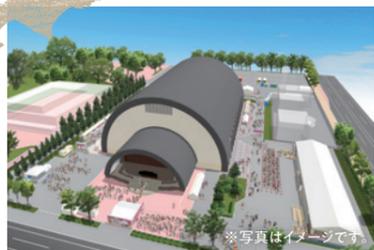
2022年夏、ニセコに誕生した注目の光のアートインスタレーション「Mountain Lights」。「ニセコHANAZONOリゾート」の広大な自然を舞台に光のアート作品をゴンドラに乗って空からと散策で楽しむ、没入型の光のアート。幻想的なニセコの夜の散策を楽しもう。ペット同伴可。花火やアイスダンスとの期間限定コラボイベントも人気。



Mountain Lights



in ASAHIKAWA



開催期間:2025年5月30日~6月15日

会場:旭川市道北アークス大雪アリーナ

2025年日本のお菓子が旭川に大集合!国内最大級のお菓子の祭典として、約4年に一度開催をしている「全国菓子大博覧会」を旭川で開催。90作品の工芸菓子や全天周映像空間などの展示のほか、お菓子の実演コーナーや大手メーカーによる体験型パビリオン、地元グルメの飲食コーナーなどが並びます。さらに、全国その地域でしか買えない1,000商品以上の銘菓を購入出来る一大イベントです。

あさひかわ菓子博2025
公式キャラクター シマエ大博



©菓博北2025



第28回 全国菓子大博覧会・北海道
あさひかわ菓子博 2025

SMILE SWEETS HOKKAIDO



北海道のおすすめ情報をお届け! /



HOKKAIDO LOVE! HP



LINE公式アカウント



Instagram



キュンちゃん公式X

HTO北海道観光機構

※2025年1月現在の情報です。



HOKKAIDO
TOURISM
PRESS



北海道の

NEW トピックス

山ノ風マチ 定山溪

ラベンダーフェスタ かみふらの

北海道観光PRキャラクター
キュンちゃん

HOKKAIDO LOVE!

北海道庁旧本庁舎
(赤れんが庁舎)
in Sapporo

2025年7月25日
リニューアルオープン!



2F 歴史と文化のフロア

1F 地域情報とにぎわいのフロア



B1F 学びと継承のフロア



札幌中心部にある北海道庁旧本庁舎は「赤れんが庁舎」の愛称で知られるれんがづくりの建物。約250万個のれんがを使っており、外壁には開拓使のシンボルである「五稜星」が輝く北海道を代表する国の重要文化財に指定されている歴史ある建物です。2019年10月1日よりリニューアル工事のために一時閉館していましたが、2025年7月25日にリニューアルオープン、一般公開を再開します。リニューアル後の館内では、世界遺産やアイヌ民族の歴史や文化などの展示や道内各地の魅力を発信や飲食、道内各地から優れた産品を集め広くその魅力を発信する物販スペースなどもできる予定です。

北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)の主なあゆみ /

-1888—北海道庁本庁舎(赤れんが庁舎)完成
-1909—赤れんが庁舎火災
-1911—赤れんが庁舎復旧工事完成
-1967—開拓使札幌本庁舎跡及び赤れんが庁舎が国の史跡指定
-1968—赤れんが庁舎復元工事完成
-1969—赤れんが庁舎が国の重要文化財に指定
-2019—赤れんが庁舎改修のため休館
-2022—赤れんが庁舎改修工事着工
-2023—赤れんが庁舎仮設見学施設 一般公開開始
-2024—赤れんが庁舎仮設見学施設 一般公開終了
-2025—7月25日 赤れんが庁舎 リニューアルオープン



住所：北海道札幌市中央区北3条西6丁目



昼と夜とで、世界観が変わる

AOAO
SAPPORO
in Sapporo



ブルールーム



ペンギンやクラゲ、チンアナゴなどのさまざまな生物に出会えるほか、世界自然遺産「知床」の海の世界を再現したデジタルアートの展示でまるで、海のなかにいるかのような没入感を味わうことができる。昼と夜では館内の明るさが変化し、館内の雰囲気が変わるため、昼と夜どの時間帯に訪れても楽しめるのもこの施設の魅力の一つ。

札幌の中心地「狸小路商店街」に面したmoyuku sapporo内にある「AOAO SAPPORO (アオアオサッポロ)」。地下街や狸小路商店街と直結で、雨や雪などの悪天候に左右されることなく大人も子どもも安心して楽しむことができる都市型水族館。



2023年7月
OPEN

住所：札幌市中央区南2条西3丁目20moyuk SAPPORO 4階-6階
営業時間：10:00～22:00(最終入館 21:00) ※季節によって変更する場合があります。
定休日：年中無休 ※施設メンテナンス等により臨時休館する場合があります
入館料：大人2,000円～、子ども(小中学生)1,000円～、幼児(3歳以上)200円
※時期によって料金が異なる。詳しくは公式サイトをチェック



ペンギンやクラゲを眺めながら、北海道産の小麦を使用した「クロワッサン」や夜の札幌名物「シメバフェ」や北海道限定生ビール「サッポロクラシック」も味わえる。ほかにはない札幌の夜の楽しみ方が体験できます。

山ノ風マチ

in sapporo(Jozankei)



新スポットも誕生 /
2025年春開業予定
休日湯(仮称)



山ノ風マチ

定山溪温泉の一角にある「山の風マチ」は3つの宿泊施設とカフェやベーカリー、スイーツショップなど個性豊かで魅力的なお店がひしめく人気スポット。2025年春には日帰り温泉施設が開業予定と今後も進化がとまらない。

住所：札幌市南区定山溪温泉西2丁目2
営業時間：各店舗により営業時間が異なる。詳しくは公式サイトをチェック
定休日：各店舗により異なる。詳しくは公式サイトをチェック



狸COMICHI

in Sapporo

大通エリアの狸小路2丁目に誕生した商業施設「狸COMICHI(タヌキコミチ)」は、北海道各地のグルメが味わえる注目のスポット。飲食店が屋台のように軒を連ね、海鮮丼やジンギスカン、寿司、クラフトビールなどの様々な北海道グルメが満喫できる。横丁のような雰囲気なか、食べ歩きを楽しんで。



2022年
OPEN

住所：札幌市中央区南2条西2丁目5
営業時間/定休日：各店舗により異なる。
詳しくは公式サイトをチェック



2023年8月
OPEN

住所：当別町ビトエ640-15
開館時間：10:00~17:00(最終入場は15:00まで)
※不定休 ※1Fショップは9:00~18:00 営業 ※状況により変動あり
入場料：大人(高校生以上)1,200円/子ども(4歳~中学生)500円/3歳以下無料



自分だけのオリジナル
チョコレートも作れちゃう！
※別途体験料がかかります



“チョコレートを旅しよう”をテーマに、ロイズのカカオ栽培からチョコレートづくりまでを、様々な展示や体験を通して学ぶ体験型施設。チョコレートやカカオを楽しく学ぶ「カカオファームゾーン」や「工場体験ゾーン」などがあり、大人も子どもも楽しめる。施設に隣接する直売店では同店限定商品も販売。



ロイズカカオ& チョコレートタウン in Tobetsu

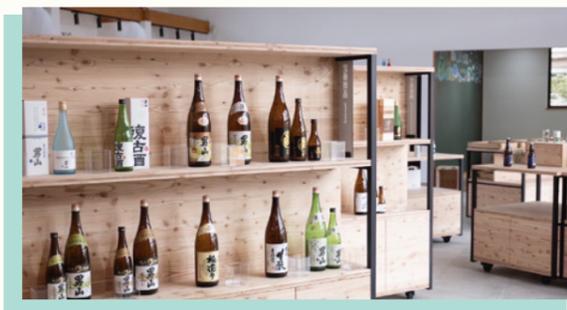


OTOKOYAMA SAKE PARK in ASAHIKAWA

旭川の老舗酒蔵「男山酒造」の酒造り資料館が、酒蔵の敷地内に公園と売店を新設し酒蔵全体がお酒好きな人も飲めない人も楽しめる新スポット“OTOKOYAMA SAKE PARK”としてリニューアルオープン。限定商品を含む日本酒の販売や試飲をはじめ、カフェやキッズスペース、そして屋外のおちょこ広場には、巨大な一升瓶すべり台が誕生！酒造り資料館では酒造りの工程の見学も楽しめるまさにお酒のテーマパーク。



カフェスタンドには仕込み水を使った商品がずらり。仕込み水を使ったかき氷や、仕込み水を入れて自分で作る「ふりふりカルピス」、純米発酵シロップの牛乳割り「男山特製ライスラテ」などのメニューが人気。もちろんお酒の販売や試飲コーナーもあるので、気に入ったお酒の購入も可能。雨の日や小さなお子さま楽しめるよう室内にもキッズスペースを用意。誰もが楽しめる酒蔵へと進化した新スポットをぜひ訪れてみませんか。



キッズスペースも

2024年9月
Renewal Open

住所：旭川市永山2条7丁目1番33号
営業時間：9:00～17:00 ※試飲、カフェは16:30まで
定休日：年末年始(12/31、1/1～3)



摩周湖 カムイテラス in Teshikaga

世界屈指の透明度を誇る摩周湖。摩周湖第一展望台にある「摩周湖レストハウス」が展望テラスや大判ガラスから大パノラマを眺めながらくつろげる室内ラウンジなどのある「摩周湖カムイテラス」へとリニューアル。標高550mから摩周湖を一望でき、運が良ければ雲海が発生することもある。摩周湖の湖面の青さをイメージしたソフトクリーム「摩周ブルーソフト」や地元の特産品を使った料理もおすすめ。

2022年7月
Renewal Open

住所：弟子屈町摩周湖第一展望台
営業時間：8:30～17:00
定休日：年末年始 ※詳細は公式サイトをチェック



硫黄山に2023年誕生した「硫黄山MOKMOKベース」。ユニークな飲食メニューや特産品が購入できる「MOKMOK Café & marche」や、ダイナミックな噴気を眺められる大判ガラス窓が特徴的な「MOKMOKシアター」など、ここでしか楽しめない体験ばかり。



2023年7月
Renewal Open

住所：弟子屈町川湯温泉1丁目
営業時間：8:30～17:00
定休日：年末年始 ※詳細は公式サイトをチェック



硫黄山 MOKMOKベース in Teshikaga